

腹部超音波検査 (Abdominal ultrasonography)

超音波検査とは、よく『エコー』と呼ばれているものです。

超音波と呼ばれる高周波の音波を体内へ発射し、その反射で臓器の形態や性状を見る検査方法です。レントゲン検査と異なり、被爆することがないため、繰り返し検査を行っても身体への悪影響がない検査です。

腹部超音波検査では、主に肝臓・胆嚢・膵臓・腎臓・脾臓の形や大きさ、腫瘍の有無などを調べます。

検査方法

お腹が見えるようにして、ベッドへ寝て検査を行います。

ゼリーを塗って超音波を出すプローブをあて、お腹の中を観察します。

臓器を見やすくするために、息を吸ったり、吐いたり、止めたりしてもらいます。また、横向きや座位など姿勢を変えて検査する場合があります。

検査時の注意点・お願い…

- 午前検査の方は朝ご飯を食べないように、午後検査の方は検査予約時間の5時間前より食べないようにして下さい。お茶やお水の飲水は可能です。病状によっては食後に検査を行うこともあります。医師にご相談下さい。
- お薬は医師の指示に従って下さい。
- 脱ぎ着しやすい、上下が分かれる服装でお越し下さい。

検査時間

20～30分